

【評価】 4：できた 3：おおむねできた 2：やや課題がある 1：課題がある

◆未然防止への取組

3 家庭や地域への働きかけ

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
いじめ防止啓発月間（9月）の設置	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回いじめ防止市民フォーラムを平成30年9月1日に開催した。（学校関係者をはじめ、PTA、民生児童委員、少年補導委員等約650名が参加） ●参加者には児童会・生徒会代表者ミーティングの取組を周知し、いじめ問題の認識が高まった。 ●小中学校において、児童会・生徒会代表者から児童・生徒へ周知し、いじめ問題の認識が高まった。 	4	いじめ防止啓発月間（9月）に関する取組の充実 ●児童会・生徒会代表者ミーティングの取組を継続して実施し、児童生徒が主体的に実施するいじめ防止に関する取組を充実させる。

◆早期発見・早期対応への取組

1 学校環境適応感尺度「アセス」の活用

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
アセス推進担当教員（主幹教諭等）を設置	<ul style="list-style-type: none"> ●各学校主幹教諭等をアセス推進担当教員として設置した。 ●主に主幹教諭が担当を担うことで、教職員間の連携がスムーズになった。 	4	アセス推進担当教員を中心にしたアセス結果の活用への支援

2 児童生徒の相談行動の促進といじめの抑止

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
教育相談コーディネーターを設置	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度より、教育相談の連携の中心的な役割を担う教育相談コーディネーターを設置した。 ●教職員間の連携がスムーズになった。 	4	教育相談コーディネーターを中心にした相談体制への支援
全小中学校での教育相談週間の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●1、2学期に全小中学生を対象に2回実施した。 ●中学校では空き教室が無く、相談場所の確保が難しい状況であった。 ●相談週間の時期及び回数を決めることで、学校での実施に支障が生じた。 ●各学校で実施している好事例取組を校長会をとらして全学校へ広めることができた。 	4	全児童生徒を対象とした教育相談の実施 ●実施時期を定めず、学校の実情に応じた教育相談を年1回以上実施する。
子ども向け相談行動促進（自殺予防教育）ハンドブックの配付	<ul style="list-style-type: none"> ●内部の専門職で協議し、外部の専門家のアドバイスを受けてリーフレットを作成した。 	2	子ども向け相談行動促進（自殺予防教育）リーフレットの活用への支援 ●各学校へ配付し、リーフレットの活用方法についての教職員向け研修会を開催する。 ●児童・生徒には担任を通じて使用方法を説明する。

5 「チーム学校」による組織的な対応

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
いじめの積極的認知に向けた仕組づくりの提示	<ul style="list-style-type: none"> ●いじめの認知に向け、定例校長会及び教育相談の学校への聞き取り訪問時等で説明してきたが、いじめの定義を限定的に解釈することなどにより、認知件数の学校格差が生じた。 	3	いじめの積極的認知に向けた指導・助言

◆関係機関との連携を強化した取組

1 スクールサポートチームによる支援

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
スクールサポートチームを設置し、専門家による学校の支援を実施	<ul style="list-style-type: none"> ●5月にチームを設置し、スクールロイヤーによる法的なアドバイス、学校安全支援員による校内巡回、学校支援カウンセラーによるアウトリーチ型心理相談等を実施した。 ●月例でチーム員会議を開催し、各専門職の情報共有を図った。 ●チームで対応することで、効果的な学校支援につながった。 ●学校現場にチーム員を派遣することで迅速な対応ができ、チーム学校への支援につながった。 	4	スクールサポートチームによる学校支援の充実

4 「ネットいじめ」等インターネット空間での対策の推進

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
「いじめ防止・対応マニュアル」の改定	<ul style="list-style-type: none"> ●7月にマニュアルを改定し全教職員へ配付した。 	4	削除 (理由)いじめ防止・対応マニュアルは5か年計画全体での取組であり、「推進体制・検証体制を整える取組」に記載されているため。
民間と連携した「ネットいじめ」対策及び相談の仕組みを検討	<ul style="list-style-type: none"> ●民間や警察と連携し、各学校の「情報モラル教室」の開催をサポートした。 	3	警察や民間と連携した「ネットいじめ」対策及び相談の仕組みを検討

◆推進体制・検証体制を整える取組

1 アセス推進体制の検証と支援

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
アセスの推進担当教員（主幹教諭等）の設置（再掲）	「アセス推進体制の検証と支援」と同様	3	アセス推進担当教員を中心にしたアセス結果の活用への支援（再掲）

2 教育相談推進体制の検証と支援

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
教育相談コーディネーターの設置（再掲）	「児童生徒の相談行動の促進といじめの抑止」と同様	4	教育相談コーディネーターを中心にした相談体制への支援（再掲）

3 いじめ対応チーム（いじめ対策委員会）及び不登校対策委員会の検証と支援

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
「いじめ防止基本方針」「いじめ防止・対応マニュアル」の改定	<ul style="list-style-type: none"> ●6月に基本方針を改定し、各学校の基本方針を改正した。 ●マニュアルを教材に8月各学校で研修会を実施し、いじめの定義、いじめへの対応方法等が共有され効果的な対応が可能となった。 ●いじめ対応に対して、学校での認識に差が出ているため、認識の低い学校へ指導する必要がある。 	4	「いじめ防止基本方針」「いじめ防止・対応マニュアル」に沿った取組の推進

5 いじめ対策へのPDCAサイクルによる評価検証体制の点検と支援

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
学校におけるPDCAサイクルによる評価方法の指導	<ul style="list-style-type: none"> ●各学期ごとに改善プログラムの実施状況を自己点検シートにより実施した。 	4	学校における学期ごとの改善プログラム取組状況等の点検
いじめ問題等対策有識者による計画策定への助言	<ul style="list-style-type: none"> ●5か年計画の2学期までの取組状況に基づき次年度の計画改正案を作成し、評価検証委員会で内容を協議する。 	4	削除 (理由)5か年計画の2学期までの取組状況に基づき次年度の計画改正案を作成し、評価検証委員会で内容を協議するため。
改善プログラム取組状況の点検及びPDCAサイクルについての指導・助言	<ul style="list-style-type: none"> ●各学期ごとに改善プログラムの実施状況を、学校へ訪問し聞き取り、指導・助言を行った。 	4	学校のPDCAサイクルによる改善プログラムの検証・改善への指導・助言